

# 009 健康経営 取り組み事例

企業  
プロフィール



## SOMPOホールディングス株式会社

業種 30 保険業

従業員数 467名(2024年度末)

### 01 推進方針

SOMPOのパーパスを実現するためには、社員とその家族が心身ともに健康であり、健康に対する不安がない状態であることが不可欠であるとの認識のもと、心身の健康管理および支援体制の整備を重要な経営課題として位置づけています。健康経営は単なる福利厚生ではなく、人材戦略上の重要課題と位置づけ、社員がいきいきと働ける環境づくりを通じて企業の持続的成長を目指します。

### 02 目標・課題

**目標** 社員一人ひとりが心身ともに健康で、意欲的に力を発揮できる職場環境の整備を進め、働きがい高めることで、社員と会社がともに持続的に成長できる環境を実現する。

#### 目標の達成状況を確認する指標(KGI)

指標(KGI)の概要	
エンゲージメントスコアの向上	
指標(KGI)の目標値	達成目標年度
対前年度比向上(2024年度 3.56pt)	2030年度

#### 自社従業員の課題

**重点課題①** [KGI] メンタル休職者ゼロ(HD単体)



**⑬メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の発生予防・早期発見・対応に関する課題**

#### 課題内容

メンタルヘルスの安定は、職場活性化、生産性向上、ひいては事業活動の向上に繋がると期待している。しかし、組織の健康状態を示す「総合健康リスク」が100を超えた職場もあり、メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の発生予防・早期発見・対応(職場環境改善等)が急務である。

名称:メンタル休職者ゼロ(HD単体)

#### 数値目標(KPI)

	数値	単位	年度
取組前実績値	4	人	2023年度
現在の実績値	4	人	2024年度
目標値	0	人	2030年度

**重点課題②** [KGI] 喫煙率12%(SOMPOグループ全体)



**⑯従業員の喫煙率低下**

#### 課題内容

喫煙による健康被害の情報共有や禁煙治療費補助金支給や個別の禁煙サポートの取り組みにより、喫煙率は徐々に低下してきたが、目標達成には至っていなかった。禁煙への取り組みを強化する観点から、2025年4月より休憩時間を除く就業時間内禁煙を導入した。

名称:喫煙率(SOMPOグループ全体)

#### 数値目標(KPI)

	数値	単位	年度
取組前実績値	16.8	%	2023年度
現在の実績値	16.3	%	2024年度
目標値	12.0	%	2030年度

#### 取り組みについての課題や困っていること

##### 現在実施している施策での課題や困っていること

本人の自覚なき重症化を予防するため、セルフケアの成熟とラインケアの強化が課題と認識している。不調の予兆を早期にキャッチし管理職が迅速にフォローする組織的な支援体制の構築が必要と考えている。

##### 今は取り組めてない、今後取り組みたい施策での課題や困っていること

運動習慣者の向上に関し、運動への関心が低い層へのアプローチが難しく、施策参加者が固定化しやすいことが課題である。強制ではなく、本人の意思で運動を始められるような行動変容を促す施策の検討を進めていく。

### 03 施策・実績

#### 健康経営の取り組み

##### 施策内容(重点課題1)



こころの相談ができる窓口の設置やe-Learningによるセルフケア研修の提供、管理職向けのラインケア研修を実施している。

##### 具体的な実践内容1

分類	自社グループサービス
名称	メンタル不調者/休職者対応「LLax standard」
提供元社名	SOMPOヘルスサポート株式会社
内容	経験豊富な心理専門職が、メンタル不調者/休職者への支援をするために、本人に加え、関係者や組織に対しても必要なアプローチを行う。
導入時期	2023年8月
選択理由	●効果 ●社名・ブランド ●機能・性能 ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	●産業医との連携強化による効果的なメンタルヘルス体制の構築 ●専門職による個別フォローでの円滑な職場復帰支援 ●従業員のメンタル不調の早期発見・早期対応(離職防止・定着促進) ●人事担当者への的確な情報提供 ●総合健康リスクが89から86に減少

##### 施策内容(重点課題2)



2025年4月から就業時間内の禁煙化の取組みとしてガイドラインを制定。喫煙所を段階的に廃止し2026年4月に全面撤廃。禁煙治療の周知。

##### 具体的な実践内容1

分類	自社グループサービス	名称	Growbase
提供元社名	ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社		
内容	健康診断結果管理システムによるデータの一元管理により業務の効率化と健康経営を促進するサービス		
導入時期	2023年4月		
選択理由	●効果 ●社名・ブランド ●機能・性能 ●サービス・製品の可能性		
評価(定量・定性)	●対応代行による担当者の作業負荷や作業時間削減 ●データ管理による業務効率化と適切な個人情報の取り扱い ●産業医や保健師との円滑な情報共有 ●各種結果の一元管理により容易となったデータ分析や官公庁への提出書類作成 ●健康診断結果より喫煙率の最新情報取得		

##### 具体的な実践内容2

分類	外部サービス		
名称	卒煙施策支援サービス「アリルジュNON-SMOKING」		
提供元社名	アリルジュ株式会社		
内容	社員の卒煙を支援する企業向けサービス		
導入時期	2025年2月	選択理由	●効果 ●社名・ブランド ●実績
評価(定量・定性)	●大鵬薬品工業が行ってきた卒煙施策を提供 ●業種別、会社規模別による他社事例や卒煙推進施策を紹介し、企業にあわせた卒煙推進プランを策定 ●組織全体で合意形成を進めるための、各階層(役員・部長陣)へのアプローチ方法 ●会議テンプレートや配布資料(ポスター)などの提供		

### 04 健康経営の成果

検証指標	ストレスチェックの結果から算出される総合健康リスク
検証手法・方法	職場のストレス要因とそれによるストレス反応およびそれらの関係に影響を与える因子(家族や同僚の支援)を以下の項目にて同時に測定し、ストレスを総合的に評価する。・「職業性ストレス簡易調査票」57項目 ・「心身のストレス反応」29項目 ・「仕事のストレス要因」17項目 ・「周囲のサポート」9項目
検証結果(具体的な施策の成果を含む)	2025年の総合健康リスクのスコアは対前年比3ポイント減で86と改善。今後も職場全体のストレス状況を把握し、メンタルヘルス不調の未然防止や職場環境改善を目指し、健康経営を推進していきます。

#### データ活用事例

事例名	健康管理システムを活用した情報の利活用
内容	社員の健診データ及び問診データを元に、男女別の健康状態の分布や、生活習慣リスクを把握し、健保連数値との比較を行うことで、健康課題を可視化している。
利用データ	健康診断データ
利用者(ユースケース類型)	管理者等